



# かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。

## 絣で、こ～よか夏歩き

**参加者募集**

夏の宵、土曜夜市を  
絣で散策しませんか!

**7/26(土) 開催**



土曜夜市で賑わう久留米市中心部の「ほとめき通り商店街」で、絣愛好者の仲間が集い、絣姿での外出や着こなしを楽しみながらPRをする催しです。今回は絣着物のレンタルもいたします。散策の途中では、ラウンジバーでアコースティック音楽を聴きながらのワンドリンク、散策の後は会員交流会(食事会)もおこないます。夏の夜のひととき、久留米絣で涼を楽しみませんか。

**とき** 平成20年7月26日(土) 18:30~21:00

**ところ** 筑後よかもん倶楽部 集合  
久留米市東町34-72 TEL.0942-80-1611

**内容** 集合出発 ~ ライブ・ドリンク ~  
散策 ~ 交流会  
ライブ・ドリンクは「ジミーズバー」  
交流会は「ドラゴンカフェ」

**参加費** ¥3,000(ライブ・ドリンク・交流会)

**申込** 電話またはFAXで「地場産くるめ」に申込

**・問合せ** TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020

**申込締切** 平成20年7月18日(金) 17:00まで

絣着物のレンタル先着20名まで無料ですが  
クリーニング代として1,000円必要となります。

## CONTENTS

1p ・かすりすと夏歩き参加者募集

2p ・久留米かすり秘話 vol.4  
『大塚太蔵と絵絣の誕生』

3p ・かすりの小径報告

・かすりたまご展

4p ・道の駅くるめ(案内)

・絣織元登場

津留織布工場(広川町)

・地場産くるめSHOP INFORMATION

# 久留米かすり秘話

VOL.4

「大塚太蔵と

絵絣の誕生」

## 絵絣誕生秘話

井上伝女(1788~1869)による久留米絣は、1799~1800年頃、田中久重・紺屋佐助の協力を得て考案されました。その文様は「雪降」また「霰織」と呼ばれ、「阿伝絣」の異名をとったと言います。雪降は不定形の大小の白模様を織り出し、幾何文様が主だったようです。

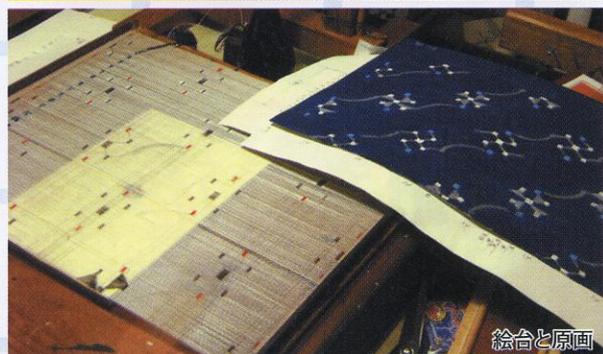
一方、絵絣に代表される大柄な絵の絣はどのように誕生したので

しょうか。三潞郡津福村(現久留米市津福本町)で絣織を生業としていた大塚太蔵(1806~1843)は、1839年、赤間関(現下関市)の芸妓某の依頼で、その名前を布面に織り出すために「緯線台(ぬきせんたい)」を考え出した、これが

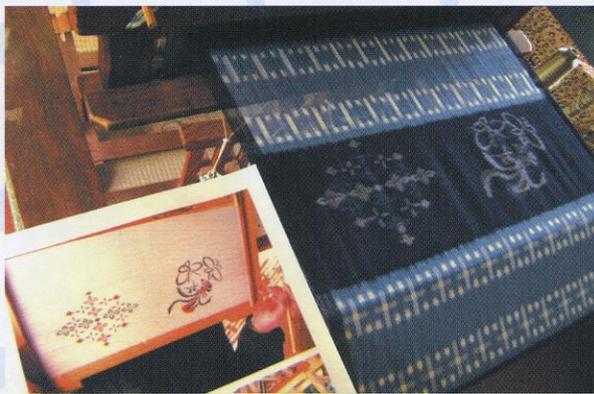
絵画絣のはじまりといい、その子孫が「絣掛台」を考案したと文献に記されています。その後改良が加えられ、複雑な絵柄が可能となり現在の「絵台」として普及しました。



松枝哲哉さんによる絵糸描きと織作品



絵台と原画



経糸の調整

## 絵台は現代のパソコン以上の優れもの

この絵台について、絣織元の松枝哲哉・小夜子さんに松枝家に伝わる伝統技法のお話を伺いました。「今日の久留米絣、特に絵絣にとつて大塚太蔵の絵台の発明は画期的だったと思います。織りによる絵画表現の緻密さは世界でも久留米絣が秀でていると思います。絵絣は、

まずスケッチし、原画を描きます。その原画を絵台の上の緯糸に書き写します。工房には絵台が祖父の代からのものも含め、時を重ね改良したものが4台あり、それぞれ現役で活躍しています。絵糸描きは絵絣の織りの基本となる設計図であり、絵柄そのものですね。絵台の両端にある箠羽(おさば)に1本の緯糸を種糸とし左右相互に張り進め糸のキャンバスをつくる。そこに墨で一文様分の絵を画き、その墨付けの部分を持ちま

す。括った通りに絵柄が出ますので、絵台の絵糸描きには時間をかけますね。」と語られます。干支、家紋、鶴亀、など伝統的な絵柄から創造的で複雑な文様に至るまで、この絵台なしではできません。まさしく現代のコンピューターです。デジタルで画像でも何でも作業処理する今の世の中、久留米絣の技術は今から170年前の大塚太蔵の「絵台」の発明が今日に伝承されています。それはデジタルでは処理できない手業の奥義が隠されているような気がします。



経糸と緯糸との括りによる複雑な文様(絵絣)

取材協力/松枝哲哉氏・松枝小夜子氏  
参考引用文献/  
久留米絣(財)久留米絣技術保存会編  
久留米絣 絵絣の技術と技法 松枝哲哉著

# 第2回

# かすりの小径ウォークレポート

実施 平成20年4月26日(土)

とところ 国武倉庫(日吉町)～寺町

今年のかすりの小径ウォークは、久留米緋の始祖、井上伝女の命日に当たる4月26日に開催されました。今年の参加者は約70名、集会所の旧国武緋倉庫前では参加者をはじめ、江藤守國久留米市長にも駆けつけて頂き、ご挨拶していただきました。

今年のイベントは3つありました。まず寺町の千栄寺本堂でのアコースティックライブ、香蘭ファッションデザイン専門学校の作品展示、緋の展示販売。同じく寺町の遍照院庭園にある茶室「以白庵」でのお茶会。そして日吉校区公民館での親子で緋の織り体験教室。

参加者はまず、お伝さんの命日ということで、お墓のある「徳雲寺」に向かい、お参りを済ませました。それから参加したいイベントに分かれ、観光ボランティアの皆さんの案内により小径散策です。今回初めての試みだった「以白庵」(高山彦九郎の号で、茶室は京都から直接移築したもので)のお茶会。MCマスターズのライブ。また織り体験では広川町の山村健さんが直接指導いただきました。

久留米の街に残る歴史的建造物や歴史的な人物をたどりながら、久留米の街を再発見する、かすりの小径ウォークはもったいなくと久留米の街を面白くするイベントとしていきたいと思っています。

かすりの小径ウォークには、香蘭ファッションデザイン専門学校の学生の皆さんにも協力いただきました。ありがとうございました。



高山彦九郎の掛軸

以白庵の幽玄な外明かり

徳雲寺 井上传女の墓参

## かすりたまご展

第16回 久留米緋創意工夫展

展示期間  
平成20年  
8月20日(水)～25日(月)  
9月20日(土)～21日(日)  
第18回広川町かすり祭当日



展示場所 広川町産業展示会館

お問い合わせ・申し込み先 TEL・FAX  
広川町観光協会 0943-32-5555  
〒834-0111 http://www.mfj.co.jp/  
福岡県八女郡広川町大字日吉1164-6 hirokawa/

主催:福岡県広川町観光協会・久留米緋広川町協同組合  
共催:福岡県広川町・広川町教育委員会・広川町商工会

後援:久留米市・久留米緋協同組合・(財)久留米地域地場産業振興センター・西日本新聞社・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社・財団法人日本手芸普及協会・株式会社日本ヴォーグ社・伝統手織協会・リッカー久留米店・NHK福岡放送局・九州朝日放送・TVQ九州放送・RKB毎日放送・FBS福岡放送・TNCテレビ西日本・fm fukuoka・ドリームスエフエム放送(株)・(株)パッチワーク通信社・ギャラリー風地蔵(順不同)

協賛:丸山洋生商店・藍誓 重松株式会社・儀右エ門館・ギャラリー風地蔵・アーネスト・久留米緋織卸商協同組合(順不同)

# 5月31日道の駅くるめがオープン。



地場産コーナー

毎日たくさんの来店者で賑わっています。その一角に地場産くるめも出品し、季節の絆おしゃれ着や小物など取り揃えています。是非一度覗いてみて下さい。

## あなたの暮らしにもエコを

自分のお箸を持ち歩く、自然に優しい取り組み「マイ箸」。地場産品を使い、お気に入りの色と柄を選んで楽しいエコライフはいかがですか!



## 織元登場 創る



つるしよくふこうじょう  
津留織布工場  
やすみち  
織元 津留泰道さん  
せいじ  
政次さん  
八女郡広川町新代2018-1  
TEL.0943-32-0447



父親から息子へ  
小柄の技術を繋ぎ紡いでいく

津留さんは小柄をメインにした織元として有名。2代目である泰道さんが他の織元にひけをとらないようにするため難しいとされる小柄にこだわり続けた結果、問屋さんからも「小柄だったら津留さん」と言われるほどの技術を確立していく。

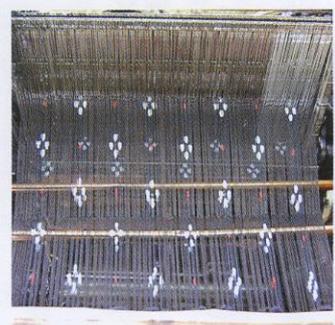
全盛の時は十数人で仕事をしていたという津留織布工場。だんだん不景気になりまた従業員の年齢もかすみ人も辞めその後は規模も小さくなった。そして「とにかく作った反物は残さず売ろう」という形に変わっていく。この技術は自分達の代で終わっていくのだから、しかしこのまま終わらせるのはもったいない。皆がそう思った時、3代目の政次さんが後を継ぐことを決心し実家にもどってくる。そんな政次さんに家族も活気づき「死ぬまでがんばらないかん」と両親と姉を含む家族4人と織り子さん1人の5人で絆に力を注いでいる。政次さんに織元になつてからの話しを聞いてみた。

洋装に合いやすい小柄の絆を取り入れるきっかけに

「この仕事に入って2年ちよとなどは。本当にただ「父親の技術をこのまま終わらせるのはもったいない」とそんな思いで帰ってきたから何も知らないで帰ってきました。またデザインとか父親からさせてもらえませんがね(笑)泰道さんは問屋さんに出したら後は「そちら側の好きにしていよ」という昔の職人気質。そこに広告業界やアパレル業界の職歴をもつ政次さんが営業面で力を発揮し広がりを見せている。「あの生地はどうでしたか?」など買われた後に

連絡を入れるようにしています。どういうものを作つてあるかも知りたいのです。そうすると「じゃまたお願いします」となり繋がっていくのです。また東京などの展示会があれば1日の営業で回ります。うちは機(はた)の数も4台、だから生産量も少ないんです。絶対数が少ないから逆にあまり出回つてない。それはある意味、希少価値が高い珍しいものかもしれないですよね!」

和柄ブームのなか津留さんの柄は若い世代にも「この柄は落ち着く」と好評を得ている。津留さんの矢新で浴衣を作りたいという女性も多い。また洋服の生地にも合いやすい小柄の絆は大手ファッションメーカーも注目するほど。そしてなんと1度も政次さんは髪型も個性的。1度会つたら「あの髪の毛の長いお兄ちゃんやろ!」と言われるほど印象は強い。本人は「よい宣伝効果です(笑)」と語る。そんな3代目は「父親の小柄の技術を守り繋いでいきながら、草木染めにも挑戦していきたい」と今後の目標を語つた。



## 地場産くるめSHOP INFORMATION



筑後の美味しい物、夏の挨拶にお届けしませんか  
ふるさとを離れた方へ、お世話になった方へ筑後の味自慢を…地場産くるめでは、筑後特産の詰め合わせを多数取り揃えて、ご来店をお待ちしています。



## 筑後よかもん倶楽部

毎月11日は「いい日よかもんの日」開催!  
地場産くるめで好評の「いい日地場産の日」。よかもん倶楽部でも実施いたしております。



毎月11日は  
全品11%OFF  
(一部商品除く)



ふるさとを「頑張る」です!  
地場産くるめ  
財団法人久留米地域地場産業振興センター

TEL. (0942) 44-3700 FAX. (0942) 43-1020  
HP. <http://jibasankurume.jp>  
展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。お盆も営業いたします。

久留米市東町34-72(一番街) TEL0942-80-1611 休:火曜日